



【実体験の大切さー楽しかったね！おもちつき】

新しい年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月8日にはお餅つきをしました。たくさんのお手伝い父さん母さんが駆けつけて下さり、前日から準備していたもち米を使って4臼つきました。私のこどもの頃は暮れにあちこちで親戚が集まってお餅つきをするのは日常風景でしたし、祖父母の家では暮れに届いた申し餅(板状のお餅)を祖母が硬くならないうちに切り分けていたことを思い出します。端っこの方は油で揚げて自家製あげ餅にしました。アツアツのあげ餅にお醤油をからませていただいた味はいまでも忘れません。

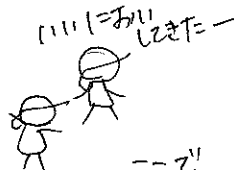
その後も地域のお祭りや年末年始のイベントでは「お餅つき大会」が行われていましたが、コロナ禍で中止されてからは、地域の行事として復活したところは意外に少ないようです。幼稚園、保育園でもコロナ禍を機に中止したところがほとんどのようです。

「やっているけど、子ども達が食べる分は「餅つき機」です」という園もありました。

本園のように「薪」でもち米を蒸しながら石臼と杵でつく昔ながらの餅つきを実施するところは本当に少ないのかもしれませんが。

私達もコロナ禍の中止を経て行事を見直したとき、準備や当日の手間を考えれば「中止」を選択することも考えましたが、復活を決意しました。それは「実体験」を大事にしたいとこだわったからです。

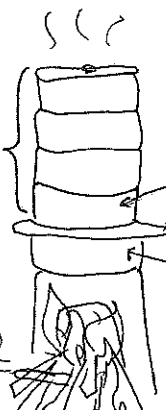
もち米は前日に
豆長さんが「蒸米」



ここの
もち米が
蒸されて
いきます



火ばさみ・ウチも
お手のもの!!



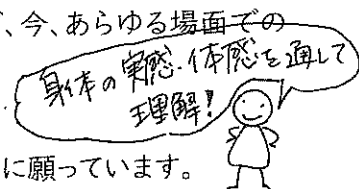
4臼!
下から蒸し
あがります

ここの
お湯わか
れます

バケツの水は用意

今は映像や動画でいくらでも調べたり見たりすることはできますし AI も上手に説明してくれます。しかし、もち米が蒸されるにしたがい漂ってくるお米の香りを「いい匂いしてきたね」と喜び、杵が石臼にあたる時の振動を「ドン!て、したね」と足や空気を感じるなど、身体感覚を通して「わかる」事が本当の意味での「ことばの理解」「世界の理解」なのではないでしょうか。

父母の会講演会で聞いた「お金の感覚の不足」の問題と同じで、今、あらゆる場面での「実体験をともなった物事の理解」が極端に少なくなっています。子どもたちは身体を通して世界を理解し、認識を深めていきます。小さな場面でも「実体験」を大事にする生活を整えてあげたいと切に願っています。



【実感しよう！体感しよう！一緒に遊ぼうの日】

そんな想いやねらいを大切にしている中での「一緒に遊ぼうの日」です。これも、まさにうちの皆様に子どもたちが毎日過ごしている園生活を「実体験」していただき、遊びの面白さや園生活を「実感」していただきたいと実施しています。朝の体操から始まり、好きな事をしてたっぷり遊ぶ時間、皆で協力するお片付け、そしてクラスごとの集まりの時間(ゲームやリズム遊び、集団遊びなどクラスごと、毎日にプログラムは色々です!お楽しみに!)と、園生活の半日をしっかりと一緒に過ごしていただきたいと思っています。子ども達の生きる世界、遊びの面白さ、友だち関係やクラスでの様子などをぜひ体験してみてください。

【一緒に遊ぼうの日、参加の視点—こんなところに注目 !!】

さて、ここでは一緒に遊ぼうの日にご参加いただくとき、ちょっとお心に留めていただきたい「視点」をご紹介します。子ども達は遊びながら本当に多くの事を学んでいると思います。一緒に遊ぼうの日は「参観」ではありません。一緒に遊ぶ事で単純な「子どもの姿を観る」だけではなく、子ども達が生きるリアルな世界、子ども達なりに一生懸命過ごしている社会生活の一端を感じていただきたいと願っています。

① 一自分が園生活の主人公—「主体的」ってどういうこと?

園では子ども自身が「主人公」の生活がおくれる事を大事にしています。

それが「主体的」な生活だと考えるからです。では幼稚園など、幼児の生活で「主体的に」ということはどのような姿で現れるのでしょうか。私は子ども達の主体的な生活は

「今日は〇〇ちゃんと△△しよう!」と楽しみに「つもり」を持ってくる、そのような姿で現れると思っています。「今日は〇〇しよう!」と考えて登園してくる子ども達はエントランスを駆け抜けるように登園してきます。誰かに与えられた時間を過ごすのではなく、自分が今日一日の生活を組み立てる主人公だからです。学校の時間割のように大人の決めたスケジュールでも「〇〇したら△△だ」という生活の流れは理解し行動できるでしょう。でも「今日は昨日の続きのお城ごっこをするのにきれいな壁をつくる段ボールやいろんな色のビニール袋がたりないから朝一番に先生にあるかどうか聞かないと!」と自分自身が思い描き、組み立てた生活を実現するための見通しやつもりに基づく自分が主人公の計画で過ごす一日の流れは、誰かに言われてやる日々とはずいぶんと質や中味が違うのではないのでしょうか?

② 「せんせー、きょうなにをするの?」ではなく「あしたもしようよ!」

そういえば金城学院幼稚園では「せんせー、きょうはなにをするの?」という言葉はほとんど聞いたことがありません。以前勤務した園では子ども達がよく言っていました。自ら確認するという意味で悪いわけではありませんが、これはその日の生活のプログラムを他者(生活の管理者である先生)に尋ねる言葉です。

私達の園では生活の大まかな流れは決まっていますが、今日の一日をどのように遊んで過ごすかは子ども達に任されていますし、特に年長児などが課題として継続して取り組む縄跳び作りや椅子作りなどの活動でも、ある一定期間の間に「〇〇日までにやろうね」と締め切りがあって、その間のいつどこで取り組むかはやはり子ども達に任されています。(もちろんいつも物事を後回しにする子、一番にやっつけたいけど慌てるので作業が雑になる子など、色々な姿が浮かび上がります。そこにピンポイントで援助や指導をしていくのが本園の保育者の役割、腕の見せ所です!)

このようにだいたい一日の過ごし方を自分で決めますから「きょうなにをするの?」という言葉は園の生活の中で必要ないのでしょう。逆によく聞くのは「せんせー、あしたもしようよ!」という言葉です。

「せんせー。〇〇出して」「△△ほしいんだけど」というお願いもよくされます。(私はヒマだと思われるらしく、よくあれこれとお願いされます(笑)。)子ども達自身に主体があり保育者を誘っている言葉ですね。



口々に「あしたも!」と言いながらオリーブの前を小走りに通ることも達の姿を見ると、「その子自身の園生活を生きているなあ」と本当に嬉しくなります。

③ 「やってみたい遊び」から始まる「主体的で対話的で深い学び」

対話的で深い学び(アクティブラーニングとも言われています)、これは金城学院幼稚園がずっと実践してきた保育そのものだと思っています。

子ども達の「やってみたい」から始まる主体的な遊びの世界では、子ども達自身が「もっと面白く遊びたい」と願いを持ちます。面白さを追求するためですから「工夫」し「探求」し、必要であれば友だちと協力したり意見をすりあわせたりしますし、様々な理由で難しい局面に直面してもへこたれません。「あ!いいことかんがえた!」と前向きに問題解決しようとするのです。やり遂げた喜びは「あー、おもしろかった!またやろう!」と次の遊びやステップへと繋がっていきます。大人から見ると「遊び」ですが、その「遊び」を通して子ども達は実に多くの事を学んでいます。

④ 「自分で創り出す面白さ」「繰り返し試行錯誤する」事とその意味

幼稚園には様々な教材がありますが、子ども達が一番喜ぶのはご存知のようにおうちの方々にご協力いただき集めているさまざまな種類の「廃材」です。登園の時になにやら「装着」してくる、降園の時にはなにやら沢山紙袋にいれて「お持ち帰り」が園のスタンダードですね!「これとこれをくっつけたらいいかな」と見通しを立てたり、接着の方法を工夫したりしながら、一度でうまくいかなくても何度でもやり直し、時には何日もかけてオリジナルの作品や、ごっこ遊びに必要なモノを自分たちの手で創り出していきます。

この「繰り返し試行錯誤できる」ということが実はとても大事だと考えています。今、学校や学びの場面では「繰り返し試してみる」という事がなかなかできません。「なるべく早く正解にたどり着く」事を求められているからです。

でも物事の本当の理解は自分で繰り返し試し、考え、体感する事で獲得していくのではないのでしょうか?最初から決まったキットで決まった手順の製作の完成にも意味はあると思いますが、失敗しながらも工夫し自分だけのオリジナルの作品を完成させた喜びや、友達と協力し大型建造物(おうちや基地、迷路まで!)を生み出す達成感には心にとしっかりと届き積み重なる、本当に確かな経験なのではないのでしょうか。

先日、バザーの収益金で見せていただいた人形劇団「あつけらかん」の演目に段ボールで様々なオモチャや人形を作り、見立てて遊ぶ内容の作品がありました。

「園の子ども達も段ボールが大好きなんです」とお話ししたら「見ました!あっちこっちにいろいろなモノが作られていてびっくりしました!」と・・・。

その創造力や創意工夫の力は急につくわけではなく、にじ組さんから年上のお友だちが切ったり貼ったり組み立てたりする作品や姿をしっかりと見て「じぶんも!」と繰り返し挑戦してきている積み重ねがあるからこそですね。

園のあちこちで作られているオリジナルのオモチャや創造物、ぜひ探してみてくださいね!



あやめはダンボールカッター?!



⑤ 主体的な遊びを支える保育者の役割



あやめはダンボールカッター!!

「やってみたい」という意欲や「どうして?」という疑問から探求や遊びが始まり「もっと面白くしたい」「もっと追求したい」と自ら願い、実現したり問題解決するために自分の考えに基づき創意工夫する子ども達。年齢が上がれば仲間と関わりあい、自分の意見を一生懸命伝え、相手の思いを聞き、受け止め、遊びの楽しさを分かち合おうとする姿があります。

主体的な遊びは自主性や創造性、人と関わる力(協同性や協調性)、粘り強く取り組む力など「生きる力」を育み「主体的に生きる」事と深くつながっていると思います。

その「主体的な遊び」をささえる保育者の役割は重要です。子ども達だけでは遊びの面白さの方向を見つけられなかったり、友達の思いをくみ取れなかったりします。一斉に並べて同じことを教え込むのではなく、一人ひとりの遊びを大事にしながら、遊びの面白さを通して、その子どもの、あるいは遊び集団の育ちに、「その時」に必要な援助をしていきます。本当に難しい事ですが私たち保育者自身も学びながら一生懸命関わっていきたいと思っています。皆様もぜひ子ども達の遊びの意味を感じ主体的な生活を体験してみてください。

どうぞ皆様にとって、また子ども達にとっても、豊かで楽しい一日となりますように。

児玉 芽 

大 大 大 大 募集!!



本気で! 真剣に! 全力で!
さあ みんなで Let's enjoy

園庭中央でたくさん遊んでいます!

☆今年は鬼ごっこ系が人気です

今日は何からでしょうか? 「どろけいが良い人〜?」「ドッジボールが良い人〜?」こんな風に子ども達と話し合って遊ぶ順番を決めています。今年は特に年中さんがどろけい遊びなどの鬼ごっこ遊びが人気で、どろけい遊びから始まることが多いです。

☆どろけい遊びとは…

是非おうちの方にも遊ぼうの日を楽しんでいただきたいので簡単にルールをご説明させていただきます。

まず、どろけい遊び専用のしっぽをつけます。ちなみにどろぼうが黄色で、警察が赤色です。どろぼうが逃げて、警察が追いかけます。警察にタッチされたどろぼうは、牢屋に入ります。捕まっていないどろぼうは捕まってしまったどろぼうを助けに行き、助けてもらったどろぼうは、また逃げることができます。

始める前にみんなで何時まで行るか決めていよいよスタート!警察役が「1, 2, 3…29, 30!」と30秒数えたら警察がどろぼうを捕まえに出発!!ちなみにどろぼうは“バリア城(どろぼうの基地)”にいて良いですが、30秒しかいられません。それ以上いた場合は、強制的に牢屋に連れて行かれます。

終了時間までにどろぼうが全員捕まったら、警察の勝ち。一人でもどろぼうが捕まらなかったらどろぼうの勝ち、というルールです。

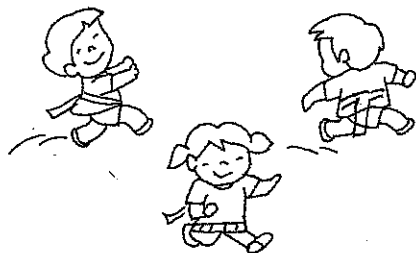
当日子ども達がしっかりルールを教えてくれると思うので、心配はいりません!是非あそぼうの日と一緒に楽しみましょう!大勢の方のご参加、お待ちしております☆

☆ドッジボール好きな人も、苦手な人も是非!

年長の子も達中心にドッジボールも盛りあがっています。2学期に入り、ボールの投げ方も、避け方も随分上手になりました。大人を当てるほど上達しています。最近は年中さんも年少さんも参加するようになってきましたが、ボールに当たり、ボールが触れないというの間にいなくなっていることもあります…(笑)

あそぼうの日では、おうちの方が参加して下さることで、より子ども達も楽しさが増し白熱した試合ができると期待しています!実は子ども達以上に私が楽しみです(笑) 真剣に楽しむお家の方達たちの姿を見て、自分もやってみたい、もっと上手になりたいという意欲に繋がると思っています。是非みなさん本気で楽しみましょう!

(AKI)



ほしぐみ・ゆりぐみのお部屋では...

ネコちゃんハウス

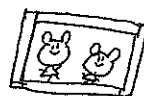
「大きな段ボールが遊戯室にあったよ～」と子どもたちに伝えると「ネコのおうちをつくりたい!」と盛り上がり、ネコちゃんハウスを作りました♪「ここはどうする?」「窓はどのあたりに作る?」とお友達同士で相談し合いながら作り進めていく姿に、成長を感じています。

三つ編みでネコのしっぽを作ったり、ぬりえで塗った絵をテレビにしてみたり...☆

子どもたちのアイデアと好きなことが詰め込まれたネコちゃんハウスです♡

<初め> 「ヒシク、みどリ、みどリ...」と言いつつ三つあみを糸通していきます。何度も何度も何度も繰り返してようやく上手になりました☆

<TV>



ぬり絵も大好きな子どもたち! 同様に段ボールで囲ってテレビの完成☆

HALLI GALLI



同じ色の絵の具で色を塗ったり、夏の中をベルを鳴らすゲーム☆



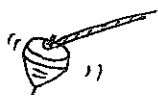
ボードゲームに挑戦☆

2学期から、トランプやボードゲームに挑戦しています。自分の順番が回ってくることを待ったり、ルールを理解して守ったり、負けて悔しい気持ちになったり、ゲームを通して様々な経験をしています。繰り返し経験していくうちに、勝つための作戦を考えている姿も...♪

<あゆみ>



こままわし

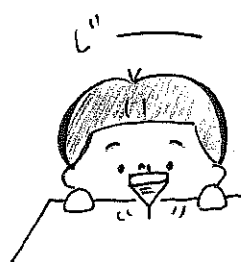


日本の伝統的な遊び「こままわし」で楽しく遊んでいます。特に、室内でもできるこままわしは、あっという間に熱中する子も♪ 初めは難しくても、「もう一回」「もう一回」と、夢中になって遊びながらコツを見出していく姿にたくましさを感じます。何度も挑戦し、「見て! 回ったよ!」と嬉しそうに教えてくれ、自分の力で回したこまをジッと眺めている姿が見られるように♪

先生が回したこまに、紐をひっかけて「コマを散歩してるみたい」「こうすると跳ぶよ!」と子どもたち同士、一緒に会話を楽しみながら遊んでいる姿もあります。

こままわしは、手先の力や手首の動かし方、目で動きを追う力など、様々な感覚を使う遊びです。また、「どうしたら回るかな?」と考えながら工夫することで、集中力や試行錯誤する力も育まれていきます。うまくいかないときも友だちの姿を見て真似をしたり、教え合ったりする中で、あきらめずに挑戦する気持ちや、友達との関わりも深まっていきます。

できた喜びや悔しい気持ちを味わいながら、子どもたちは遊びの中でたくさんのことを学んでいます♪ これからも、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、遊びを通じた成長を見守っていききたいと思います!



<まい>

6.

集中!

せいさく

子どもたちがアイデアを形にしていける“せいさく遊び”、皆さまが持ってきてくださる空き箱やペーパーの芯、カップなどが子どもたちの手で作品として生まれ変わっています。

「今日は何を作ろうかなあ…」と計画して作る子もいれば、とりあえず切ってみよう!くっつけてみよう!とまずは手を動かすことを楽しんでいる子もいます。

・お散歩させたい♪

ティッシュの空き箱とペーパーの芯、折り紙を組み合わせて作る“ネコ”。お散歩させたい!と首にリードを着けて、テラスを行ったり来たり。足の長さが揃わなくてネコが転んでしまったり、上手くくっつけられずに取れてしまったり…試行錯誤しながら、それでも“つくりたい”という思いがあるので最後まであきらめずに作っています。



・おしゃれグッズも手作りです♡

スズランテープというカラフルな紐を使って、髪飾りを作っている子たちがいます。三つ編みをしたり、細く割いてみたり、なが〜くしたり…お友だちとおそろいの色で作って楽しんでいます。



・段ボールとガムテープと…

「先生、段ボールある?」「段ボールカッターも欲しい」「あとね、ガムテープと…」「あ、黒いのは?あの袋のやつ」「そうそう!それが要るわ!」自分たちがイメージしているものを作るために、何が必要で、どうやって作ろうかアイデアを出し合っている年長の女の子たち。段ボールを組み合わせて“おばけやしき”を作るそうです。



いっしょにあそぼうの日には、子どもたちだけでなくおうちの方々のアイデアも“せいさく”を通して形にしてみてください!

おにごっこ

かわり鬼やこおり鬼、バナナ鬼など様々な鬼ごっこを楽しんでいます。

「今日はなにをする?」「かわり鬼やりたい」「どんどん(鬼が)増えていくのは?」体操後に集まったメンバーで相談がはじまります。それぞれやりたいものが違う時には「じゃあ(時計の長針が)8までかわり鬼で、次こおり鬼ね」とお互いが納得できる方法を探しています。

鬼の数、トンネルの中はナシかアリか、バリアはどうするのか…などなど、初めに一緒に遊ぶメンバーで相談し、ルールの確認をしてからスタート!お互いに思いや意見を伝えあう経験ができる場にもなっています。



「ダンボール取りに行きたい!おっきいやつ!!」



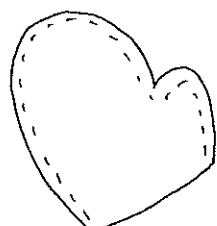
“早く作りたい”という思いがひしひしと伝わってくる姿に、子どもたちが持っている遊びへの力を感じます。友だちと一緒に遊戯室の倉庫にダンボールを取りに行くことも、楽しくて仕方ないといった様子で、足どりが弾みます。とある年中さんたちはこの日、「〇〇先生を作る!」と意気込んで、目を輝かせていました(笑)。ダンボールで人間を作ろうなんて…子どもたちの発想の豊かさにはいつも驚かされます。

ダンボールで工作をするという遊びの中でも、様々な育ちが見られます。何を作るか自分たちで話し合い、必要な材料を考えて「ダンボールが欲しい」「ダンボールカッター2人分ください」と保育者に伝える力。作りたいもののイメージを、仲間と言葉や身振りで一生懸命伝え合い、「〇〇先生を作ろう」「この材料でこんなふうを作ろう」と共通のイメージを持って、形作っていく過程。意見が違えばすり合わせ、カッターで怪我をしないように意識して声を掛け合う力。たくさん考えて試行錯誤する力、行き詰まって保育者に助けを求める力、など挙げればきりがありません。そして、それらを楽しみながら自然に行っているところが子どもたちの遊びの素晴らしさだと思います。加えて、明日は顔を作るんだ、目と口、髪の毛を描く人に分かれてるんだと今後の計画や役割分担をしていることまで教えてくれました。

いつの間にこんなことができるようになったんだろう…!と思いました。やりたいことが実現できる環境で、年上児の遊びを見てきた経験や、自分がやってみてイメージ通りにできた経験も、できなかった経験も、今の姿に繋がっていると思います。ぜひおうちの方も、一緒にイメージを膨らませ、思いを伝え合い、やりたいことを形にしていく仲間に加わっていただけると嬉しいです。

ぬいものが始まりました

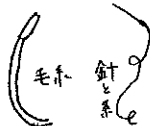
スケート用の手袋を作りたい!という一言から始まったぬいもの。ぐちゃぐちゃになったり、太針を刺すのが固かったりと途中で投げ出したくなる時もありますが、時間をかけて作るからこそ完成した時の喜びもひとしおです。作ったものを大切そうに眺めて、にこにこ喜びを噛み締めながらずっと歩き回っている可愛らしい姿もあります。少しずつ少しずつできていく縫い物に向き合いながら、じっくりと遊ぶ楽しさを感じてほしいと願っています。



手の形から作ったよ



わたしは5本指にする!
むずかしくてもいいの!



毛糸

針と糸

うーん こっちは針で、
こっちは毛糸で作りたい!



* * ❄️ * * ❄️ * * ❄️ * * にじぐみ ❄️ * ❄️ * ❄️ *

3 学期からまた新入園児を迎えますますにぎやかになったにじぐみさん。進級に向けてのプレ異年齢クラスも少しずつ始まりました。クラスのあつまりの時間に子どもたちは5クラスへ順番に3, 4 名ずつ移動します。お兄さんお姉さんたちに囲まれて嬉しそうだったり、緊張したり、様々な表情のにじぐみさん。大きなお部屋やパワフルなお兄さんお姉さんたちに圧倒されそうですが、一緒に過ごしながらかしずつ異年齢クラスに慣れていけたらと思います。受け入れてくれるお兄さんお姉さんたちにもじさんがあそびに来てくれるのをとても楽しみにしてくれています。クラスでは一番小さな年少さんも少しお兄さんお姉さんになったようで誇らしげにお世話をしてくれています。

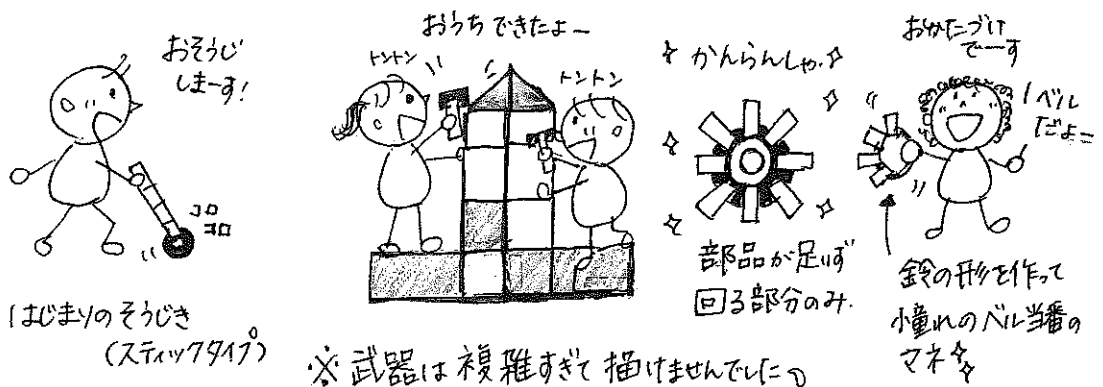
年上児の遊びを見て刺激を受け、遊びの幅が広がることも楽しみです。そして何より新しい出会いを喜びながら、仲間との絆が深まっていくことにも期待をしています。



大人気ブロック遊び

にじぐみにあるブロックがそんなに数はないので、今まで遊ぶ子も一部の子に限られていました。ところが、今年度は空前の大ブーム! 掃除機から始まって見本をみながら観覧車を作ってみたり(数が少ないので完成できないのですが...) かなづちに見立ててソフトブロックのおうちを立てたり、立派な武器を作ったり、どんどんクオリティが高くなっています。男の子も女の子もブロックで武器を作ったらやはり戦いごっこにはなりますが、それぞれかっこいいポーズを決めて大満足。ときどき実際に戦ってもいますが、優しく「えいえい!」と壊れないように慎重です。

大人が思いつかないような組み立てかたは本当にすごいなーと感心しています。



※武器は複雑すぎて描けませんので

製作あそびもやってみたい!

セロテープやはさみが自由に使えると、とにかくやってみたい気持ちがいっぱい! ビニールテープやセロテープを切って折り紙にペタペタ貼り付けて楽しんだり、はさみで紙を切り刻んだり…気づくと棚にもぺたぺたとビニールテープが貼ってあったり、ピアノの椅子やコート掛けにガムテープやビニールテープをグルグルに巻き付けていることもありました。テープがくっつくことや、セロテープを引き出して切る感触が楽しいんだと思います。無駄使いのようで、もちろんお話はしますが、どれも創造の始めの一歩です。上手に使っている友だちの作品を見て、少しずつ適量もわかるようになります。自由に製作あそびができる環境で伸びしろは無限です! 面白いものができるようにどうぞ楽しみにしてください。



お外では…

にじぐみの子どもたちは友だちと一緒に遊ぶことが楽しいと感じている子やまだまだ一人遊びが楽しい子もいたり、それぞれの成長の時期や個性もありますので、遊び方も様々です。

みんな大好きなのは砂遊びです。気が付くとオレンジ帽子の集団が砂場で大きな山や池を作っていたり、型抜きをして、おままごとやお店屋さんごっこを楽しんでいます。

寒い日の水あそびはひゃ〜と思わず声が出てしまいますが、池作りや泥団子を作るには欠かせません。小枝を集めて焚火ごっこをした時はお友だちとイメージが共有できてとても嬉しそうでした。

またキックバイクやモンキーブリッジにも挑戦している子もいます。三輪車はお友だちを押してあげる微笑ましい姿や、お兄さんたちのガソリンスタンドごっこを真似したりと楽しいことにどん欲な姿が見られます。中には年上児に混ざってドロケイをするなど、様々な遊びを通して日々心も体も成長しています。

そんなことを心の片隅に置いていただき、あそぼうの日には子どもたちと一緒に楽しく遊んでください。

Akies